

|                  |  |              |        |
|------------------|--|--------------|--------|
| 授業科目名<br>( 英文名 ) | 防災心理学 (Psychology for Disaster Management)   | 科目区分<br>対象学生 |        |
| 単位数              | 2.00   | 開講年次・<br>学期  | 2年次・後期 |
| 担当教員             | 木村 玲欧  | 所属           | 環境人間学部 |
| オフィス・場所          |  | 連絡先          |        |
| 講義目的及び到達目標       | <p>急激で大規模な環境変化である災害時の人間心理・行動を理解するためには、平時とは異なる「特殊な」心理・行動状態とそれに関わる解決課題を理解することが重要である。本講義では、心理学の観点から災害時の人間理解を深めるとともに、災害時における適切な対応・支援を促進させることを目的とする。</p> <p>本講義の到達目標は、1) 平時とは異なる災害時の心理・行動状態とそれに関わる解決課題を理解すること、2) 災害時の人間理解を深め、災害時における適切な対応・支援を促進できるようになること、である。</p>  |              |        |
| 講義内容・授業計画        | <p>&lt; 授業内容 &gt;<br/> 災害時における人間心理・行動の特徴について心理学の観点から概説する。授業では事例をあげながら、受講者にも事例における原因と課題および対処法について、主体的に考えてもらう機会を設定する。</p> <p>&lt; 授業計画 &gt;<br/> 1. ストレス (1) ストレスとストレス概念<br/> 2. ストレス (2) ストレスパターンの理解<br/> 3. ストレス (3) ストレスマネジメント<br/> 4. 災害時の感情 (1) 災害後の感情の変化<br/> 5. 災害時の感情 (2) 子どもの感情変化<br/> 6. 災害時の感情 (3) 災害対応従事者の感情変化<br/> 7. こころのケア (1) 心的トラウマ<br/> 8. こころのケア (2) こころのケアの手法<br/> 9. こころのケア (3) 被災地におけるこころのケアの実態<br/> 10. バイアス (1) 正常性バイアスと同調性バイアス<br/> 11. バイアス (2) さまざまなバイアスと課題<br/> 12. バイアス (3) 警報に対する認知と行動<br/> 13. バイアスと失見当への対処法 (1) 失見当に対する対処法<br/> 14. バイアスと失見当への対処法 (2) バイアスに対する対処法<br/> 15. バイアスと失見当への対処法 (3) 丁度可知差異とその応用</p> |              |        |
| テキスト             | 必要に応じてプリント等を適宜配布する   |              |        |
| 参考文献             | 『災害・防災の心理学 - 教訓を未来につなぐ防災教育の最前線』(木村玲欧、北樹出版、2015)<br>本教科書の3章・9章を中心に深掘りする(本講義においては参考文献のため、購読すると理解を深めることはできるが必ずしも入手しなくてよい)。  |              |        |
| 成績評価の基準・方法       | <p>成績評価の基準<br/> 平時とは異なる災害時の心理・行動状態とそれに関わる解決課題を理解し、災害時の人間理解を深め、災害時における適切な対応・支援を促進できる者に単位を授与する。</p> <p>講義目的・到達目標に記載する能力(知識・技能、思考力、判断力、表現力等)の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法<br/> 定期試験50%、授業での小レポート50%を基準として、受講態度などを含めて総合的に評価する。</p>  |              |        |
| 履修上の注意・履修要件      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業において、小レポートや、場合によってグループワークを課すので積極的に出席・参加すること。</li> <li>・ 授業中に指示した宿題や事前・事後学習はもとより、「講義内容・授業計画」に記載したテキスト等の該当箇所などについて、十分な予習・復習をして講義に出席すること。</li> <li>・ 当授業は履修者を教室定員の1/2未満に制限し、対面授業を行います。履修希望者が</li> </ul>  |              |        |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>定員を超える場合は、ランダム抽選により履修者を決定する場合があります。なお、履修希望者が定員を若干名超える場合は、履修希望者全員の履修を認める場合もあります。</p> <p>・新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とする場合があります、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。</p> |
| 実践的教育 | 該当しない   |
| 備考    | <p>担当教員は、心理学・行動学・教育学・社会調査法をもとにした災害・防災研究を行っている。この講義は、担当教員の専門分野である「災害時の心理・行動」についての基礎的部分を解説するものである。詳細は教員研究者データベースHP (<a href="http://kyoin.u-hyogo.ac.jp/">http://kyoin.u-hyogo.ac.jp/</a>) を参照のこと。</p>  |